

医療機器・設備

(平成26年3月現在)

PET/CT (2台)



PETから得られる薬の臓器への移動(代謝)画像とX線CTから得られる臓器の形(形態)画像を重ね合わせて、正確に診断することができる装置です。

サイクロトロン



PET検査で使用するポジトロン核種を作るための装置です。ポジトロン核種は、半減期が非常に短いため、病院内で生成しています。

64列マルチスライスCT



CT検査はX線を利用して人体の輪切りを画像にする検査です。短時間で胸部など幅広い範囲を細かく撮影でき、また血管や骨などの三次元表示が可能です。

1.5T-MRI (2台)



MRI検査とは磁石の力で人体のいろいろな方向の輪切りや縦切りの画像を取るもので、脳や脊椎、骨盤、手足の関節の撮影に向いています。

IVR-CT



血管撮影装置と高性能CTを組み合わせる事により、従来の患者移送により施行していたCT検査と血管造影などの治療が一つの撮影室で施行出来るようになりました。

超音波診断装置



生体に投射した超音波をブラウン管でとらえ体内を画像化する機器です。人体には全く無害で痛みもありません。甲状腺、腹部、骨盤部を中心に検査をおこないます。

RVS (リアルタイム・バーチャル・ソノグラフィ)機能付

その他 医療機器・設備

- 16列・32列マルチスライスCT
- SPECT-CT (RI)
- 血管造影装置 (IVR-CT)
- 血管造影室 (頭部、腹部、四肢)
- 高気圧酸素治療装置 (HBO)
- 腹部超音波診断装置 (透視、内視鏡、腹部超音波、ERCP、PTCD等)
- 人工透析室 (34床)
- 骨密度測定装置
- 気管支ファイバー
- 誘発電位検査装置

- 小腸内視鏡
- ホルター心電図
- 特定集中治療室 (ICU6床)
- 外科系X線TV装置 (DR)
- 肝臓内科専用腹部超音波診断装置
- 睡眠時無呼吸症候群検査装置
- 眼底カメラ検査装置
- 全自動血液凝固測定装置
- 超音波検査装置 (心臓・腹部・頸動脈・末しょう血管)
- 脊椎内視鏡手術セット (MED)
- ハイビジョン腹腔鏡システム

- 肺機能検査装置 (精密)
- 磁気刺激装置
- 重心動揺計
- 一般撮影装置 (CR) 2台
- 手術室5室 (外科、整形外科、他)
- 血圧・脳波装置
- 聴力検査装置
- 多項目自動血球装置
- 生化学自動分析装置
- マンモグラフィ
- 筋電図